

# 日本銅学会第63回講演大会

## 「テーマセッション」の講演募集案内

日本銅学会  
第63回講演大会  
実行委員会

日本銅学会では、第63回講演大会の最終日（2023年11月4日（土））、名古屋市中企業振興会館にて、以下の内容で「テーマセッション」を開催します。

つきましては、関連する研究内容の講演を広く募集しますので、多数のお申込をお願い申し上げます。

### ■ 題目：「溶湯処理技術の新展開」

#### ■ 趣旨

銅および銅合金中の介在物や溶存ガスは、材料特性の低下や伸線加工時の破断、鑄塊のピンホールや引け巣の原因となり、製造コストならびに製品品質に悪影響を及ぼすことはよく知られています。また、近年ではSDGsの観点からスクラップ利用拡大も重要になりつつあり、水平リサイクルを達成して原料自由度の拡大を図るには、溶湯処理技術の一層の進展が求められます。そのためには溶湯内部の諸現象の理解や計測が必要ですが、溶湯は高温融体であるために、様々な困難が伴います。近年では、各種シミュレーション技術等が発展している一方で、信頼性の高い結果を得るには、その基礎となる諸現象の理解や各種データの取得も依然として重要な役割を果たしています。

そこで本テーマセッションでは、溶湯処理技術の高度化をキーワードに、溶湯の清浄化、高温融体の物性や鑄造性、同じくセンシング・計測技術、計算機シミュレーション全般等、実験と計算/解析両者の観点からの溶湯処理に関する基礎および応用研究をセッションの範囲とし、皆様からの一般講演を広く募集いたします。

#### ■ 講演申込

基調講演および依頼講演の準備は事務局を中心に進めていますが、本テーマセッションに関連する研究内容の一般講演を広く募集します。申し込み方法は発表資格を含めて、基本的には一般の講演申込と同じですが、申し込みフォームでお申し込みの際に「テーマセッション欄」に丸印をご記載ください。

- ・ 申込締切 : 2023年7月31日（月）
- ・ 概要原稿締切 : 2023年8月31日（木）
- ・ 発表時間 : 1発表15分間（発表10分＋質疑応答5分）の予定
- ・ 発表日 : 2023年11月4日（土） 講演大会最終日 の予定

※本テーマセッションで募集する一般講演は、他のセッションの講演と同様に、原則新規内容の発表に限定いたします。学生による発表は「学生優良講演賞」の候補となります。

※また、本テーマセッションで発表いただいた一般講演は、他のセッションの講演と同様に、原則2024年8月に出版予定の日本銅学会会誌「銅及び銅合金」に論文投稿いただきます。（規定の投稿料が発生します）

■ オーガナイザー：

(正) 新井宏忠 (八戸高専)、(副) 村松尚国 (日本ガイシ)

■ 世話人：

岡根利光 (ものづくり大学)、栗田典明 (名工大)、森下浩平 (九州大)

坂本敏夫 (三菱マテリアル)、吉村泰治 (YKK)

■ 依頼講演 (仮)：(敬称略・順不同)

No	所属	講演者	講演テーマ (仮)
1	八戸高専	新井 弘忠	溶銅の高清浄化技術研究部会報告
2	香川高専	嶋崎 真一	材料電磁プロセッシング：溶銅中からの介在物粒子の電磁分離
3	名古屋工業大	奥村 圭二	金属精錬プロセスの高効率化に関する研究
4	〃	栗田 典明	$\alpha$ アルミナを用いた新規な構造を持つ溶融銅用の水素センサーの開発
5	早稲田大	山口 勉功	銅製錬の乾式熔練における不純物の挙動とその理解
6	YKK (株)	長谷川 格	機械学習と熱力学解析によるフラックス最適組成設計

■ 問い合わせ先：日本銅学会 事務局

〒110-0005 東京都台東区上野1-10-10 うさぎやビル5F

一般社団法人 日本伸銅協会 内 栗原、杉本

TEL：03-6803-0587、FAX：03-3836-8808

E-mail：dou-gakkai@copper-brass.gr.jp